

# 泉佐野市道路整備計画

( 都市計画道路 )

計画期間：令和元年度 ～ 令和10年度

平成31年3月

(令和7年12月 一部修正)

泉佐野市都市整備部道路公園課

## はじめに

関西国際空港の開港やりんくうタウンの整備、空港関連の地域整備による広域交通体系の充実  
は、本市に大きな変化をもたらしました。大阪湾から山間部までの豊かな自然に恵まれ、長きに  
わたり独自の歴史と文化を培ってきた本市にとって、この変化は新しいまちづくりの出発点とし  
て位置づけられるものです。

これらの都市基盤は、国や地域を越えて人と人の出会いと交流の場を創り、人々の交流を通じ  
て地域の活性化と魅力化に大きく貢献するものとなります。これらを積極的に活用することによ  
り、新たな価値を創造していく次代にふさわしいまちづくりを展開していくことが可能となりま  
す。

さらに、本市においては、身近な生活基盤の整備とともに、新たな地域コミュニティ形成の強  
化などが求められ、暮らしやすさを実感できるための「ひと」にやさしいまちづくりが必要とさ  
れています。

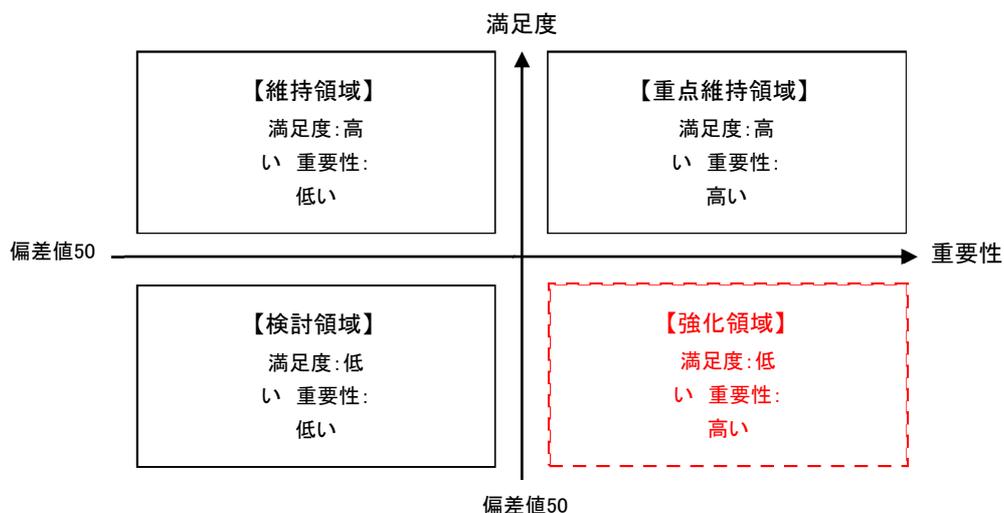
本市をめぐる社会情勢や時代の潮流を踏まえ、生活者や来訪者などの「ひと」に視点をおい  
た、持続可能なまちづくりを積極的に推進していくことを理念として掲げます

(第5次泉佐野市総合計画、基本構想より)

## 市民アンケート

道路環境の充実、交通体系・道路網の整備などの施策の重要性と満足度について、アンケート調査を  
行い、その結果をもとに偏差値を算出し、散布状況を図示することで、各施策の位置づけを分析しまし  
た。

### 【散布図による分析のイメージ】



#### ○重点維持領域

施策の満足度・重要性がともに高く、満足度を低下させることなく効率化を図る必要がある。

○強化領域

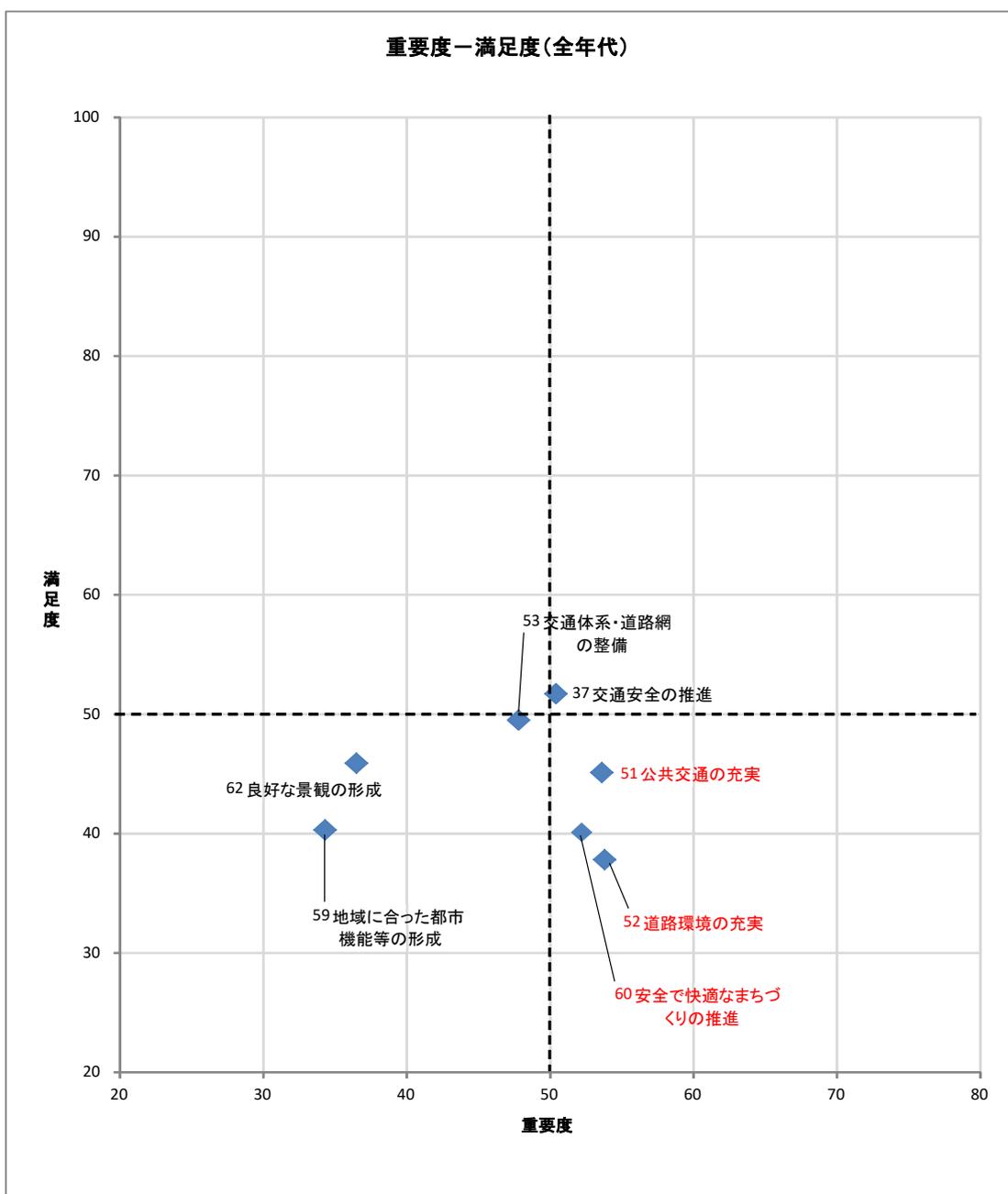
施策の満足度は低いが高重要性が高く、現状に満足していないことから、満足度を向上させるための施策の改善や充実が必要である。

○維持領域

施策の満足度は高いが重要性が低く、現状に満足していることから、現状を維持しながら、必要以上の事業を実施していないかを検討する必要がある。

○検討領域

施策の満足度・重要性がともに低く、今後の重要性の変化を見極めながら満足度を向上させるための施策の改善や見直しが必要である。



都市計画マスタープラン市民アンケートより（平成30年4月実施、市内在住の18歳以上3,000人を無作為抽出、回収率23.0%）

## 道路整備の基本的な考え方

### ○快適で円滑な交通流動を支える基盤づくり

将来の交通需要に対応し、都市活動及び市民生活を支える道路などの交通基盤の整備を進めます。

### ○人と環境にやさしい交通環境の形成

地球環境問題や高齢社会の到来に対応し、公共交通の利用促進による環境負荷の低減、歩行者空間や交通結節点におけるバリアフリー化など環境と人にやさしい交通環境の形成を図ります。

### ○良好な市街地形成に資する交通機能の形成

都市の交通施設、特に道路は交通機能以外に市街地の骨格形成、景観形成、供給処理施設などの収容空間、コミュニティースペース、防火帯、避難路といった機能を有していることから、良好な市街地形成に資する交通機能の形成を推進します。

## 道路整備方針

### ○ネットワークの充実と東西軸の強化

- ・泉佐野市の拠点性等を高める主要幹線道路の整備を促進します。

（泉佐野土丸線、泉州山手線）

- ・内陸部と臨海部の一体性を高めるため、東西交通軸となる幹線道路などを整備します。

〈笠松末広線〉

### ○生活道路の整備

- ・歩行者などの安全性、利便性、快適性の確保や地区の防災性の向上を図るため、生活道路の整備を進めます。（密集市街地など）、また、道路密度の低い地区においては新規路線の整備を検討します。
- ・市管理の橋梁について、利用者の安全確保、延命化によるコスト縮減等の目的から点検を行い、老朽化が顕著に見られる橋梁については適切な処置を行い合理的な維持管理に努めます。

### ○交通体系の充実

- ・鉄道とバス・タクシーなどとの結節機能を高めるため、駅前広場の整備を推進します。

### ○アメニティの向上と都市景観の形成

- ・幹線道路などにおいては、緑化を積極的に進め、都市景観の形成、都市防災性の向上、アメニティの向上を図ります。また、主な幹線については、公園や緑地などを有機的に結ぶ緑の軸と位置づけ、ネットワーク化を図ります。
- ・高齢者、障害者や幼児などが安心して歩けるように、福祉のまちづくり条例に基づいて、段差の解消、歩車分離、安全施設の整備などを推進します。

都市計画道路整備計画

●現状 本市における都市計画道路は、45路線（総延長 77.68km）が計画決定されており、整備済み延長は 63.31km、整備率 81.5%（H29年度末）となっています。

種別	路線名	計画決定 延長 (m)	整備済み 延長 (m)	種別	路線名	計画決定 延長 (m)	整備済み 延長 (m)
自動車 専用道	関西国際空港線	6,840	6,840	幹線 街路	樫井西線	370	150
	大阪湾岸線	4,120	4,120		日根野駅前線	130	130
	小計	10,960	10,960		佐野中央1号線	1,400	1,150
幹線 街路	国道26号線	7,120	7,120		佐野中央2号線	720	—
	泉州山手線	1,960	—		佐野中央3号線	590	—
	大阪外環状線	570	570		佐野中央4号線	240	—
	泉佐野中央大通線	5,570	5,570		佐野中央5号線	1,050	1,050
	大阪臨海線	4,070	4,070		羽倉崎嘉祥寺線	570	570
	泉佐野田尻泉南線	1,190	1,190		上町末広線	950	490
	りんくう往来中央線	1,300	1,300		住吉鶴原線	600	—
	大阪岸和田泉南線	1,770	1,770		末広公園線	870	870
	堺阪南線	5,410	5,410		みなとりりんくう線	3,440	3,340
	大阪外環状線	1,530	1,530		熊取駅西1号線	460	—
	泉佐野駅前線	40	—		熊取駅西線	100	—
	高松中央線	540	540		小計	60,140	45,770
	笠松末広線	1,670	710	区画 街路等	上町区画街路1号線	240	240
	上町高松線	640	580		南海付属街路1号線	1,240	1,240
	泉佐野熊取線	2,270	2,270		南海付属街路2号線	440	440
	泉佐野土丸線	5,760	5,240		南海付属街路3号線	1,000	1,000
	羽倉崎上之郷線	4,700	—		南海付属街路4号線	820	820
	鶴原東線	1,000	—		南海付属街路5号線	1,800	1,800
	鶴原駅前線	130	—		南海付属街路6号線	1,040	1,040
	泉佐野王子線	1,260	—	小計	6,580	6,580	
泉佐野駅前線	150	150	合計	77,680	63,310		

資料：平成29年度末年計画道路現況調査

●都市計画道路整備計画

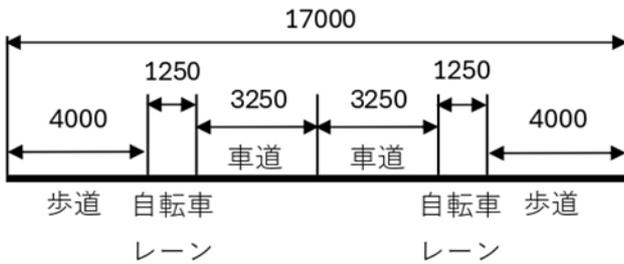
現在事業中、または今後10年以内に着手を予定している路線（事業主体：泉佐野市）

令和7年12月時点

事業中路線	今後10年以内に着手を予定している路線	備考
・泉佐野土丸線 （区間：府道大阪臨海線～府道泉佐野岩出線）	—	令和元年8月事業認可取得
・笠松末広線 （区間：上町末広線～府道泉佐野岩出線）		令和6年3月事業認可取得

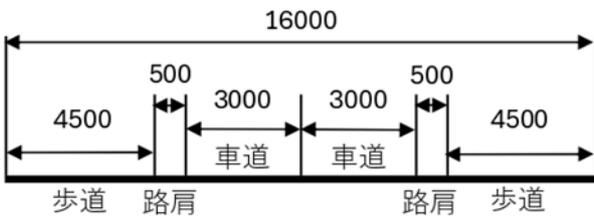
・泉佐野土丸線

—横断面図—



・笠松末広線

—計画横断面図—



# 位置図

